

玄関ドア用ドアクローザ 取扱説明書

AS-22P, ASB-22P, AS-22P88

AS-23P, ASB-23P, AS-23P88

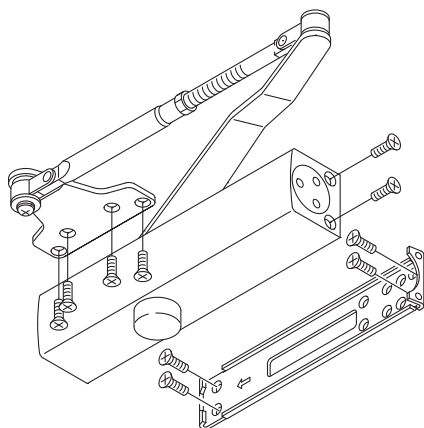
弊社製品をご購入賜り有り難うございました。
このドアクローザは自動的に扉を閉める機械です。
安全に永くご使用頂く為に、以下の注意事項をよく
ご理解頂き、正しくお取扱い下さい。

【事故防止のために】

お願い

1. 本体に油のにじみや洩れが発生すると、扉が勢よく速く閉まり、指をはさんだり扉との接触転倒等による怪我をする危険を伴います。速度調整しても油圧が効かず、ゆっくり閉まらなくなった場合は、速やかに本体をお取替え下さい。(管理事務所、施工業者、又は弊社へご連絡下さい。)
2. 強風が吹いている時は注意して扉を開けて下さい。急に閉めた場合、指をはさんだり扉との接触事故、扉壁等の損傷や製品が破損する場合があります。(お子様、高齢者には特にご注意下さい。)

取付方法

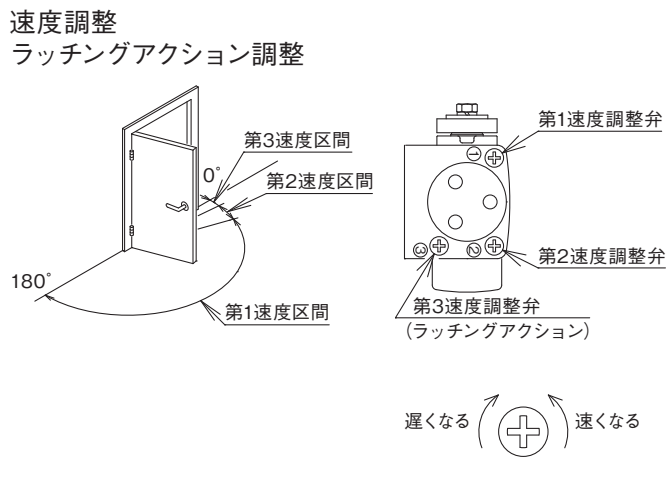


3. 気温が高くなると速度が速くなり危険です。夏期には調整方法を参照の上、適正速度に調整して下さい。閉扉速度は調整弁を左右に回せば調整できますが、緩め過ぎると油が洩れて危険です。調整弁を本体の表面より飛び出さない様にして下さい。
※90°から閉まる迄の適正閉鎖時間は5～8秒です。

【永くご使用頂くために】

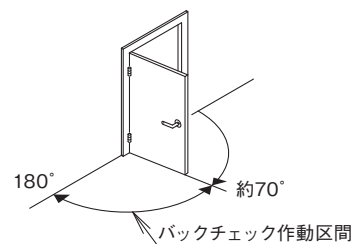
1. ゆっくり閉まっている扉を無理に速く閉めないで下さい。油洩れやアーム、ネジが折れる原因になります。
2. 本体、アームの取付ネジや連結ネジが緩んでいる場合は、締め付け直して下さい。
3. 埃がたまったり結露があった場合は、拭き取ってスムーズに作動する様に油をさして下さい。

調整方法



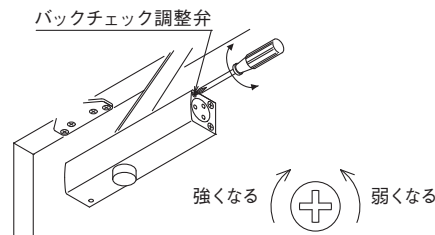
■ バックチェック機能付き (ASB)

強風などによる急激な開扉を制御する機能です。ドア開き角度約70°付近から油圧が効き始め、クッションの作用をします。ドアの開き方向に強風や外力が加わり、ドアが急激に開いても、壁やドアに損傷を与えません。作動時にはドアが重くなりますが、故障ではありません。ドアをゆっくりと押せばドアは開きます。



■ バックチェック調整 (ASB)

バックチェックを効かす場合、調整弁を右へねじ込んで行けば強くなります。左へ回せば弱くなります。出荷時はバックチェックが効かない程度に調整弁を緩めています。バックチェックを効かせる場合は、調整弁を右の方向に回して締め込んでください。



リョービ株式会社

札幌 〒062-0937 札幌市豊平区平岸7条14-3-48 ☎(011)811-8232
 仙台 〒983-0034 仙台市宮城野区扇町4-2-38 ☎(022)237-6201
 東京 〒114-8518 東京都北区豊島5-2-8 ☎(03)3927-5533
 富山 〒939-8214 富山市黒崎107-1 ☎(076)493-2225

名古屋 〒468-0034 名古屋市天白区久方1-145-1 ☎(052)807-1643
 大阪 〒569-1135 大阪府高槻市今城町24-12 ☎(072)685-1113
 広島 〒736-0082 広島市安芸区船越南3-7-29 ☎(082)823-0028
 福岡 〒811-2305 福岡県糟屋郡粕屋町袖須107-1 ☎(092)623-5000

異常を感じられた際の対処方法（調整が難しい場合には、まず、お取り扱いの建築会社様、工務店様または販売店様にお問い合わせください。）

現象	考えられる原因	点検箇所	対処方法
ドアの閉じる速度が徐々に速くまたは遅くなった	季節の温度変化など	速度調整弁	速度調整方法を参照願います
ドアの閉じる速度が急に速くなった	油漏れ	ドアクローザ本体	まず、お取り扱いの建築会社様、工務店様または販売店様に交換依頼願います
ドアの閉じる速度が急に遅くなった	油の流れが悪い	速度調整弁	速度調整方法を参照願います
閉じる際「バタン」と大きな音がするようになった	ネジの緩み	取付ネジ	ネジを締め付けてください
	油漏れ	ドアクローザ本体	まず、お取り扱いの建築会社様、工務店様または販売店様に交換依頼願います
	ラッチング機能が強すぎる	ラッチング調整弁	ラッチング調整弁の調整方法を参照願います
ドアがスムーズに閉まらなくなったり異音がするようになった	ネジの緩み	取付ネジ	ネジを締め付けてください
	1・2速のバランスが悪い	速度調整弁	速度調整方法を参照願います

ドアクローザ商品保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店様、工務店様、販売店様または最寄りの当社支店・営業所に修理をご依頼ください。

保証期間

施工者よりの引き渡し日（注1）（注2）から2年間。

（注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了日とします。

（注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

保証内容

取扱説明書またはその他の記載事項に基づく適正な使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。ただし、本来の使用目的以外の用途に使用された場合は保証の対象にはなりません。

免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理になります。

- ① 施工要領書などに基づかない施工の不備に起因する不具合
- ② 商品の性能または適用範囲（ドアの重量、サイズ、開閉回数など）を越えたドアの使用または越えた場所に取り付けられたことに起因する不具合
- ③ 窓の開閉などによって誘発される屋内の気圧の変化に起因する不具合
- ④ 建築躯体の変形などに起因する不具合
- ⑤ 結露及び雨がかりによる錆、カビ、変色、腐食などの不具合
- ⑥ 商品または部品の経年変化（使用頻度が高いことに伴う著しい消耗、摩耗など）や経年劣化（使用頻度が高いことに伴うゴム部品・樹脂部品の変質、変形、変色など）
- ⑦ 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する腐食またはその他の不具合
（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
- ⑧ 天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、津波、噴火、洪水、地盤沈下、火災など）に起因する不具合
- ⑨ 引き渡し後のドアの操作誤り、ドアクローザの調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
- ⑩ お客様自身の修理、改造などに起因する不具合
- ⑪ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*保証期間経過後の修理、交換などは有料とします。

*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、その他についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。